

<<<このページを最初にお読みになってから、閲覧をしてください>>>
>>

<<<Please read this page before viewing the contents of the PDF.>>>

2014 年 10 月 8 日

October 8, 2014

(責任表示)

(Responsible Institution)

本 PDF 版は、慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター（以下、DMC 研究センター）でアーカイヴ化して発信しています。

This PDF file has been archived and distributed by the Research Institute for Digital Media and Content, Keio University (hereafter DMC Research Institute).

(アーカイヴの経緯)

(The Circumstances of the Archiving)

これまで慶應義塾大学における研究プロジェクト活動としての「HUMI プロジェクト」(1996～2001)、その後継の「デジタルアーカイヴ・リサーチセンター (DARC) プロジェクト」(2001～2009)、さらにその後継の「15～17 世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」プロジェクト (2009～2014) が研究期間満了に伴い終了しました。これを受けて、これらのプロジェクトの研究成果を、2014 年度から DMC 研究センターが継承することが学内で決まりました。

Digitization activities at Keio University, carried out in three successive projects, namely the HUMI Project (1996-2001), the Digital Archive Research Center (DARC) Project (2001-2009), and the Early Illustrated Books Research Initiative (EIRI) Project (2009-2014), were completed as the term of the projects came to end in spring 2014. In its wake, a decision was made that the DMC Research Institute be the repository of their research outcomes.

(本 PDF 版に関する注意点)

(Notes to the PDF File)

・メンテナンス状況

State of Maintenance

本 PDF 版は、これらの研究成果のウェブサイトをアーカイヴ化したもので、リンク切れ等で表示されない箇所は多くあります。また、担当者の所属、役職等は、プロジェクト当時のものであるため、現在とは異なる箇所は多くあります。これらのメンテナンス予定はありませんが、現時点で閲覧できる箇所だけでも公開をしたほうが、研究成果が活かされるものと判断し、不十分ながらもデジタルアーカイヴの公開に踏み切っています。

This PDF file is an archived website of one of the abovementioned projects. Many of the links are no longer valid, and positions and affiliations of the individuals are as of the time of the project and thus may not reflect their current statuses. While we have no plans to update the information, it has been

considered useful to make the research outcomes available online despite some defects.

・印刷解像度と大きさ

Print Resolution and Size of the File

本 PDF 版を公開するに当たっては、ダウンロードと解像度 150dpi での印刷が可能です。なお、本 PDF のファイルサイズは、68 ページ、3MB です。

The PDF file is downloadable and printable at 150dpi. The size of the file is 3MB and contains 68 pages.

(本 PDF 版の画像等使用のためのお問い合わせ先)

(Contact for the Use of Images etc. of the PDF File)

営利団体、官公庁を含む非営利団体が本 PDF 版に掲載されている画像等をダウンロードして印刷物に使用する場合や放送・映像に使用する場合、あるいは個人が研究・教育目的の著作物への使用、非売品図書への使用、学会発表等の学術目的への使用や放送・映像に使用する場合には、以下へ問い合わせをお願いいたします。

For both commercial and non-commercial use of the images etc. from this PDF file, for example in printed materials, broadcasting and other forms of media, use by individuals for research and educational purposes such as in academic and educational publications and presentations, please contact below as appropriate.

・慶應義塾大学が所蔵する資料の画像使用 ⇒ 慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター (必要に応じて、慶應義塾大学内の関係部署への仲介をさせていただきます。)

-Images of the materials owned by Keio University: DMC Research Institute (enquiries may then be referred to relevant sections of the University)

お問い合わせ先

https://wwwdc01.adst.keio.ac.jp/kj/dmc/form_html/form.html

ContactUs

https://wwwdc01.adst.keio.ac.jp/kj/dmc/form_html/form_en.html

・慶應義塾大学以外の機関が所蔵する資料の画像使用 ⇒ それぞれの所蔵機関に直接、お問い合わせください。

-Images of the materials NOT owned by Keio University: Please contact the individual owning institutions.

以上

EIRI PROJECT

慶應義塾大学

15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究プロジェクト

EIRIについて | お知らせ |
お問い合わせ

検索

EIRIは研究の進んでいない

15～17世紀における世界で制作された絵入り本を

世界的な視野から比較研究し、

その具体的な影響関係を調べるプロジェクトです。

新着記事

2014.3.4 渋井清艶本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ

2014.2.24 2014.3.4「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会

2014.2.21 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ

2014.1.14 2014.1.11～26「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ

2013.11.18 2013.12.13-14「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会

2013.11.12 2013.12.7「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム

2013.9.20 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会

2013.8.19 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ

2013.3.12 2013.3.18～19 講演会のお知らせ

2012.11.22 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

EIRI からのお知らせ

2011.5.16 2011.9.9 パーカーライブラリー・慶應EIRI国際会議開催のお知らせ

2011.3.25 J.-P. Genet 教授研究講演会

2010.3.29 ホームページを公開いたしました

新着記事

2014.3.4 渋井清艶本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ

2014.2.24 2014.3.4「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会

2014.2.21 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ

2014.1.14 2014.1.11～26「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ

2013.11.18 2013.12.13-14「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会

2013.11.12 2013.12.7「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム

2013.9.20 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会

2013.8.19 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ

2013.3.12 2013.3.18～19 講演会のお知らせ

2012.11.22 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)

野元 晋 (3)

高橋 智 (3)

佐々木 孝浩 (3)

松田 隆美 (8)

浅見 雅一 (1)

徳永 聡子 (2)

内藤 正人 (1)

安形 麻理 (0)

EIRI PROJECT

Keio University

Comparative studies on the Japanese, Chinese, Islamic and European illustrated books produced mostly in the 15th, 16th and 17th centuries



[Japanese](#) [English](#)

[About EIRI](#)
[Enquiries](#)

[News](#)

[Search](#)

The EIRI (Early Illustrated Research Initiative) Project aims to investigate the little-studied subject of illustrated books produced between the 15th and the 17th centuries from an international comparative perspective, tracing influences and interrelationships across multiple cultures.

What's New

2013.11.18 [Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study](#)

2010.3.29 [EIRI Research Overview](#)

News

2013.11.18 [Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study](#)

2010.3.29 [EIRI Research Overview](#)

Researchers

[ISHIKAWA, Tooru](#) (1)

[NOMOTO, Shin](#) (0)

[TAKAHASHI, Satoshi](#) (0)

[SASAKI, Takahiro](#) (0)

[MATSUDA, Takami](#) (1)

[ASAMI Masakazu](#) (0)

[TOKUNAGA, Satoko](#) (0)

[NAITO, Masato](#) (0)

[AGATA, Mari](#) (0)



EIRIの研究概要

15～17世紀には、世界各地で絵入り本が制作されている。日本においては、ようやく絵入り本が量産されるようになった。その中でも手作りの奈良絵本・絵巻や、印刷本に彩色を施した丹緑本は、これまでほとんど総合的な研究をされずにきたが、日本文化を代表する個性を持っている。一方、西洋においては、15世紀にグーテンベルグの聖書から始まった印刷技術により、初期印刷本と呼ばれる本が多く作られ、それらには、絵入り本も多く存在している。また、イスラム・インド社会においては、細密画という絵本が同じ時代に制作され、中国や朝鮮半島においても、絵入りの印刷本が多く制作されている。これらの同時代の絵入り本には、構図や絵の具の類似が見られるのである。おそらく、大航海時代において、それぞれが何らかの繋がりがあるのであるが、これまで、そのような世界的な比較研究がなされずにきたのである。そこで、本研究では、それぞれの地域の研究者を集め、15～17世紀の絵入り本を整理・撮影・研究した上で、その関係を明らかにしたいと考えている。

また、本研究では、慶應義塾大学HUMIプロジェクトによって始められ、その後、慶應義塾大学DARCプロジェクトで展開されてきた、西洋のグーテンベルグ聖書や日本の奈良絵本・絵巻等の、貴重図書資料のデジタル化に関する活動を継続して行い、デジタル化の成果を広く公開して、今後の研究や文化の発展に寄与することも考えている。

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



EIRI からののお知らせ

2011.5.16	2011.9.9 パーカーライブラリー・慶應EIRI国際会議開催のお知らせ
2011.3.25	J.-P. Genet教授研究講演会
2010.3.29	ホームページを公開いたしました

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scafe教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



お問い合わせ

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学 EIRI PROJECT

電話：03-5427-1646（慶應義塾大学HUMIプロジェクト内）

FAX：03-5427-1647

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



新着記事

2014.3.4	2014.3.4 渋井清艶本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4WendyScase教授講演会

新着記事

2014.3.4	渋井清艶本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4WendyScase教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



石川 透

慶應義塾大学文学部教授

室町時代後期から江戸時代中期にかけて制作された奈良絵本・絵巻研究

主な研究実績

- 『室町物語影印叢刊』1～43 (三弥井書店、2000年～2011年)
- 『魅力の御伽草紙』 (三弥井書店、2000年)
- 『落窪物語の変容』 (三弥井書店、2001年)
- 『室町物語と古注釈』 (三弥井書店、2002年)
- 『慶應義塾図書館蔵 図解御伽草紙』 (慶應義塾大学出版会、2003年)
- 『奈良絵本・絵巻の育成』 (三弥井書店、2003年)
- 『御伽草紙 その世界』 (勉誠出版、2004年)
- 『奈良絵本・絵巻の世界 カラー版』 (慶應義塾大学ORC (奈良絵本)、2005年)
- 『魅力のある奈良絵本・絵巻』 (三弥井書店、2006年)
- 『広がる奈良絵本・絵巻』 (三弥井書店、2008年)
- 『奈良絵本・絵巻の展開』 (三弥井書店、2009年)
- 『奈良絵本・絵巻の宇宙 カラー版』 (慶應義塾大学絵入り本プロジェクト、2010年)
- 『入門 奈良絵本・絵巻』 (思文閣出版、2010年)

執筆記事一覧

- 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
- 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
- 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
- 2013.3.18～19 講演会のお知らせ
- 2012.10月11月展覧会のお知らせ
- 2012.8.18～19 奈良絵本・絵巻国際会議 神奈川大会のお知らせ
- 2012.8.4～5 絵入り本国際集會講演会のお知らせ
- 2012.3.15～3.20 古典絵入り本の東西展開催のお知らせ
- 2012.3.1～3.28 奈良絵本・絵巻に見る昔話展開催のお知らせ
- 2011.11.28～12.16 東西の絵入り本－1400～1700年展－開催のお知らせ

新着記事

- 2014.3.4 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
- 2014.2.24 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
- 2014.2.21 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
- 2014.1.14 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
- 2013.11.18 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
- 2013.11.12 2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
- 2013.9.20 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
- 2013.8.19 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
- 2013.3.12 2013.3.18～19 講演会のお知らせ
- 2012.11.22 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

- 石川 透 (19)
- 野元 晋 (3)
- 高橋 智 (3)
- 佐々木 孝浩 (3)
- 松田 隆美 (8)
- 浅見 雅一 (1)
- 徳永 聡子 (2)
- 内藤 正人 (1)
- 安形 麻理 (0)



野元 晋

慶應義塾大学言語文化研究所・教授

専攻はイスラーム思想史、ことにイスマーイル派を中心とするシーア諸派の思想史。本EIRIプロジェクトではイスラーム美術における宗教思想の具象的表現。

主な研究実績

“Early Ismā‘īlī Thought on Prophecy According to the Kitāb al-Iṣlāḥ by Abū Ḥātim al-Rāzī (d. ca. 322/934-5).” Ph. D. dissertation, McGill University, Montréal, 1999.

「初期イスマーイル派の神の言葉論——スィジスターニーの「神の〔創出の〕命令の認識について」及び他二篇和訳」、松田隆美編『西洋精神史における言語観の変遷』、慶應義塾大学言語文化研究所, 2004, pp. 275-314.

「イスラーム：死と復活の思想」、吉原浩人編『東洋における死の思想』春秋社, 2006, pp.113-144.

「イブン・ルシュド」、内山勝利・小林道夫・中川純男他編『哲学の歴史』、第3巻『神との対話〔中世〕』（中川純男責任編集）、中央公論新社, 2008, pp. 371-394.

執筆記事一覧

2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会

2012.7.6 鎌田由美子氏 講演会

2011.12.17 .21 バーネット教授 バーガー氏講演会

新着記事

2014.3.4 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイヴ 試行的運用開始のお知らせ

2014.2.24 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会

2014.2.21 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ

2014.1.14 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ

2013.11.18 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会

2013.11.12 2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム

2013.9.20 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会

2013.8.19 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ

2013.3.12 2013.3.18～19 講演会のお知らせ

2012.11.22 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)

野元 晋 (3)

高橋 智 (3)

佐々木 孝浩 (3)

松田 隆美 (8)

浅見 雅一 (1)

徳永 聡子 (2)

内藤 正人 (1)

安形 麻理 (0)



高橋 智

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授

中国書誌学（漢籍＝中国古典籍の版本の歴史・鑑定・流通史、日本における漢籍の書写・出版の歴史など）

主な研究実績

「室町時代古鈔本『論語集解』の研究」（汲古書院、2008年9月）など

執筆記事一覧

2012.4.26 高仁徳氏、李慧紋氏、松田隆美氏講演会

2012.3.1 沈乃文氏講演会

2011.10.27 陳正宏教授講演会

新着記事

- | | |
|------------|--|
| 2014.3.4 | 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイヴ 試行的運用開始のお知らせ |
| 2014.2.24 | 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会 |
| 2014.2.21 | 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ |
| 2014.1.14 | 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ |
| 2013.11.18 | 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会 |
| 2013.11.12 | 2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム |
| 2013.9.20 | 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会 |
| 2013.8.19 | 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ |
| 2013.3.12 | 2013.3.18～19 講演会のお知らせ |
| 2012.11.22 | 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会 |

研究者

- 石川 透 (19)
- 野元 晋 (3)
- 高橋 智 (3)
- 佐々木 孝浩 (3)
- 松田 隆美 (8)
- 浅見 雅一 (1)
- 徳永 聡子 (2)
- 内藤 正人 (1)
- 安形 麻理 (0)



佐々木 孝浩

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授

写本を中心とする日本古典籍の形態と内容の相関関係に関する研究などの日本古典書誌学および、柿本人麿信仰と人麿画像及び歌仙絵の研究を専門とする。本プロジェクトでは、絵入り占本の国際的比較研究をテーマとする研究を行っている。

主な研究実績

『古筆への誘い』（共著）（三弥井書店、2005年3月）

『和歌をひらく第3巻』（共著）（岩波書店、2006年2月）

『古今集注釈書影印叢刊1僻案抄』（勉誠出版、2008年11月）

『大島本源氏物語の再検討』（共著）（和泉書院、2009年10月）

執筆記事一覧

2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム

2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会

2012.12.7 ジョセフ・キブルツ氏講演会

新着記事

2014.3.4 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイヴ 試行的運用開始のお知らせ

2014.2.24 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会

2014.2.21 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ

2014.1.14 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ

2013.11.18 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会

2013.11.12 2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム

2013.9.20 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会

2013.8.19 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ

2013.3.12 2013.3.18～19 講演会のお知らせ

2012.11.22 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)

野元 晋 (3)

高橋 智 (3)

佐々木 孝浩 (3)

松田 隆美 (8)

浅見 雅一 (1)

徳永 聡子 (2)

内藤 正人 (1)

安形 麻理 (0)



松田 隆美

慶應義塾大学文学部教授 / 慶應義塾大学デジタルメディアコンテンツ統合研究センター所長

西洋中世（特に14～16世紀のイギリスとフランス）の写本や初期刊本を対象として、イメージとテキストの相関性、書物の流通と民衆レベルのキリスト教信仰との関係、中世の死生観とヴィジョンなどを研究。15～16世紀の絵入り本（写本と印刷本）を対象としたデジタル・エディションを作成し、オンライン公開している。

主な研究実績

Death and Purgatory in Middle English Didactic Poetry (Cambridge: D.S. Brewer, 1997)

『寓意の鏡－16・17世紀ヨーロッパの書物と挿絵』（慶應義塾図書館、1999年）

Codices Keionenses: Essays on Western Manuscript and Early Printed Books in Keio University Library, ed. by Takami Matsuda (Tokyo: Keio University Press, 2005)

『義塾図書館を読む－和・漢・洋の貴重書から－』（慶應義塾図書館、2007年）

『中世イギリス文学入門-研究と文献案内』（共編著）（雄松堂出版、2008年）

『ヴィジュアル・リーディング－西洋中世におけるテキストとパラテキスト』（ありな書房、2010年）

〈オンライン・コンテンツ〉西洋中世・近代初期絵入り本のXMLデジタル・エディション (Digital microfilm and XML edition of Early Printed Books) <http://www.flet.keio.ac.jp/~matsuda/ks/>

執筆記事一覧

2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会

2012.5.29 Professor William Sherman講演会

2012.5.19 ペトロフスカイヤ・ナタリア氏講演会

2012.5.19 「慶應義塾大学絵入り本」主催研究会

2012.5.13 クリスチャン・エック教授講演会

2011.10.30 A.S.G. エドワード教授講演会

J-P. Genet教授講演会中止のお知らせ

J.-P. Genet 教授講演会

新着記事

2014.3.4 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ

2014.2.24 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会

2014.2.21 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ

2014.1.14 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ

2013.11.18 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会

2013.11.12 2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム

2013.9.20 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会

2013.8.19 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ

2013.3.12 2013.3.18～19 講演会のお知らせ

2012.11.22 2012.12.4 Wendy Scase教授講演会

研究者

石川 透 (19)

野元 晋 (3)

高橋 智 (3)

佐々木 孝浩 (3)

松田 隆美 (8)

浅見 雅一 (1)

徳永 聡子 (2)

内藤 正人 (1)

安形 麻理 (0)



浅見 雅一

慶應義塾大学文学部教授

キリシタン史、中国天主教史

主な研究実績

『キリシタン時代の偶像崇拜』（東京大学出版会、2009年3月）

執筆記事一覧

2011.7.7 スタンダエルト教授講演会

新着記事

- | | |
|------------|--|
| 2014.3.4 | 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ |
| 2014.2.24 | 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会 |
| 2014.2.21 | 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ |
| 2014.1.14 | 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ |
| 2013.11.18 | 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会 |
| 2013.11.12 | 2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム |
| 2013.9.20 | 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会 |
| 2013.8.19 | 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ |
| 2013.3.12 | 2013.3.18～19 講演会のお知らせ |
| 2012.11.22 | 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会 |

研究者

- 石川 透 (19)
- 野元 晋 (3)
- 高橋 智 (3)
- 佐々木 孝浩 (3)
- 松田 隆美 (8)
- 浅見 雅一 (1)
- 徳永 聡子 (2)
- 内藤 正人 (1)
- 安形 麻理 (0)



徳永 聡子

慶應義塾大学文学部助教

15～16世紀前半にイギリスの市場向けに出版された印刷本における木版挿絵の使い回しなどについて関心があります。

主な研究実績

'Early English Books (c. 1473-1600) in the Keio University Library', *Geibun-Kenkyu*, 95 (2008), 8-17

「書物に探る中世後期の女性と読書」『文読む姿の西東-描かれた読書と書物史』田村俊作編 (慶應義塾大学出版会, 2007)

'The Sources of Wynkyn de Worde's Version of "The Monk's Tale"', *The Library*, 7th ser. (2001), 223-35

執筆記事一覧

2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

2011.9.9 パーカーライブラリー・慶應EIRI国際会議開催終了

新着記事

2014.3.4 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ

2014.2.24 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会

2014.2.21 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ

2014.1.14 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻-昔話の世界-」展のお知らせ

2013.11.18 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会

2013.11.12 2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム

2013.9.20 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会

2013.8.19 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ

2013.3.12 2013.3.18～19 講演会のお知らせ

2012.11.22 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)

野元 晋 (3)

高橋 智 (3)

佐々木 孝浩 (3)

松田 隆美 (8)

浅見 雅一 (1)

徳永 聡子 (2)

内藤 正人 (1)

安形 麻理 (0)



内藤 正人

慶應義塾大学文学部教授・慶應義塾大学アートセンター所長

江戸時代の絵画史・版画史が専門。ことに浮世絵・琳派等の作品研究・作家研究を中心とする。このほか、上記の系譜を受け継ぐ近現代美術全般についても研究・評論。

主な研究実績

『浮世絵再発見』（小学館、2005年）

『江戸名所図屏風～大江戸劇場の幕が開く（アートセレクション）』（小学館、2003年）

『ボストン美術館肉筆浮世絵』（第2巻責任編集）（講談社、2000年）

『歌川国芳（新潮日本美術文庫22）』（新潮社、1998年）

“RIMPA ART from the Idemitsu Collection, Tokyo”（共著）（British Museum Press, London, 1998）

執筆記事一覧

渋井清艶本研究資料 デジタル・アーカイヴ 試行的運用開始のお知らせ

新着記事

2014.3.4	渋井清艶本研究資料 デジタル・アーカイヴ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



安形 麻理

慶應義塾大学文学部准教授

デジタル画像を用いたグーテンベルク聖書の比較研究（校合）を行っている。本プロジェクトでは、貴重書のデジタル化技術を担当している。

主な研究実績

『デジタル書物学事始め：グーテンベルク聖書とその周辺』（勉誠出版、2010年）

デジタル画像を用いた刊本の校合の手法 Library and information science,53 1-17 (2005年)

貴重書のデジタル化：「グーテンベルク聖書」の事例 レコード・マネジメント,44 49-58 (2002年)

新着記事

- | | |
|------------|--|
| 2014.3.4 | 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ |
| 2014.2.24 | 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会 |
| 2014.2.21 | 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ |
| 2014.1.14 | 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ |
| 2013.11.18 | 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会 |
| 2013.11.12 | 2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム |
| 2013.9.20 | 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会 |
| 2013.8.19 | 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ |
| 2013.3.12 | 2013.3.18～19 講演会のお知らせ |
| 2012.11.22 | 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会 |

研究者

- 石川 透 (19)
- 野元 晋 (3)
- 高橋 智 (3)
- 佐々木 孝浩 (3)
- 松田 隆美 (8)
- 浅見 雅一 (1)
- 徳永 聡子 (2)
- 内藤 正人 (1)
- 安形 麻理 (0)



渋井清艶本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ

渋井清艶本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始

慶應義塾大学アート・センターでは、EIRIプロジェクトの研究成果として「渋井清艶本研究資料

デジタル・アーカイブ」を試行的に構築し、2014年3月から仮運用を開始しました。

データベースは、アート・センター資料目録一覧ページよりアクセス可能です。

画像の閲覧には、事前の利用申請が必要となっていますので、ご希望の方は、アート・センターまでお問い合わせください。

- ・アート・センター資料目録 一覧ページ

<http://www.art-c.keio.ac.jp/archives/catalogues/>

- ・アート・センターへのお問い合わせ

<http://www.art-c.keio.ac.jp/visit/contact-us/>

新着記事

2014.3.4	渋井清艶本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」 講演会

慶應義塾大学

EIRI 戦略的研究基盤形成支援事業

「15~17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」研究会

天国を描く

ユーラシアの東西が見た来世

International symposium

Illustrating the Heaven:

The Hereafter Seen in East and West Eurasia

講師:

石川透氏 Prof. Toru Ishikawa (慶應義塾大学教授) 「日本の極楽絵——近世を中心として」 “The illustrations of the Paradise in Japan with special reference to Early Modern Age”

モニカ・ジン氏 Prof. Monika Zin (ミュンヘン大学/ベルリン自由大学教授) 「幸運と富を求める楽園のイメージ: 初期仏教は「悟り」に合わない主題をどう描写したか——アジャンターの絵画を中心に——」 “Images of Paradise for Good Luck & Prosperity: The depiction of themes irrelevant for enlightenment in the older Buddhist tradition (with sp. reference to the Ajanta paintings)”

鐸木道剛氏 Prof. Michitaka Suzuki (岡山大学教授) 「物質の聖化——東方正教会における<地上の天国>」 “The Matter Sanctified: “Heaven on Earth” in the Eastern Orthodox Church”

リンダ・コマロフ氏 Dr. Linda Komaroff (ロサンゼルス美術館学芸員) 「イスラーム美術における楽園の視覚化」 “Visualizing Paradise in Islamic Art”

松田隆美氏 Prof. Takami Matsuda (慶應義塾大学教授) 「西洋中世における天国と楽園のヴィジョン」 “Visions of Heaven and Paradise in the Middle Ages”

日時:2014年 3月4日 午前10時~午後5時 会場:慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

会場の住所はいずれも東京都港区三田2-15-45 最寄り駅はJR田町駅、都営地下鉄三田駅など (詳しくは慶應義塾ウェブサイトより「交通・アクセス案内」

(<http://www.keio.ac.jp/ja/access/index.html>) を御覧ください。)

《お問い合わせ先》

慶應義塾大学言語文化研究所 野元 晋E-mail: nshin21st@z8.keio.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」 講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI) 報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11~26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」 展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」 講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」 シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18~19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)

© 2010 EIRI All Rights Reserved.



2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ

慶應義塾大学 絵入り本プロジェクト (EIRI) 報告会

日時 2014年3月5日 (水)

会場 慶應義塾大学 北館1階ホール (東京都港区三田2-15-45)

テーマ 「絵入り本研究の未来」

午前の部 (10:00-12:00)

1. 奈良絵本・絵巻研究の成果と未来 石川透
2. 日本古典籍の装訂の格付と挿絵の関係について 佐々木孝浩
3. 艶本研究資料アーカイブの構築と運用 内藤正人

午後の部 (13:30-17:00)

4. 日本所在の中国絵入本研究へむけて 高橋智
5. イスラーム思想史研究と絵入り本 野元晋
6. 前近代イエズス会系「絵入り本」の印刷と伝播 浅見雅一
7. イギリス初期刊本のバラテキスト要素 徳永聡子
8. 西洋写本・印刷本の時禱書とエンブレム・ブッカー研究基盤形成と書物文化史的研究 松田隆美

当日、適宜、絵入り本の展示閲覧が行われます。

なお、本会は、戦略的研究基盤形成支援事業「15~17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」による成果報告会です。

新着記事

2014.3.4	渋井清艶本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11~26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18~19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ

「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ

慶應義塾大学絵入り本プロジェクト（戦略的研究基盤形成支援事業「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」）では、日本の豪華な絵入り本である奈良絵本・絵巻の研究を行っています。奈良絵本・絵巻とは、主に17世紀に京都において制作された美しい手彩色の絵本や絵巻のことです。今回は、今日でも親しみやすい昔話に関連した作品を展示いたします。

主催「慶應義塾大学絵入り本プロジェクト」

会期「2014年1月11日（土）～1月26日（日）」

会場「足利市立美術館 展示室1」

（足利市通2丁目14-7）

（東武線足利市駅徒歩7分、両毛線足利駅徒歩7分）

イベント情報「講演会「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」

講師 慶應義塾大学文学部教授 石川透

日時 1月26日（日）午後2時～3時

連絡先

〒108-8345東京都港区三田2-15-45 Tel03-5427-1178

慶應義塾大学文学部石川透研究室email:toru@flet.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会

平成25年度戦略的研究基盤形成支援事業 慶應義塾大学「絵入り本プロジェクト」主催

写本および初期刊本におけるテキストと挿絵

—比較研究の試み—

日時 2013年12月13日（金）13:30～18:00（13:00開場）

2013年12月14日（土）10:30～17:00（10:00開場）

会場 慶應義塾大学三田キャンパス東館8Fホール

Text and Illustration in Early Books and Manuscripts:

A Comparative Study

Texte et illustration dans les manuscrits et livres anciens imprimés — une étude comparée

13 Dec. 2013 : 13:30—18:00 / 14 Dec. 2013 : 10:30—17:00

Keio University, Mita Campus, 8th Floor, East Building

事前申込み不要・入場無料 (Admission free)

全ての発表において、日本語のレジユメを配布します。

問い合わせ先：松田隆美研究室：matsuda@let.keio.ac.jp

Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study

Texte et illustration dans les manuscrits et livres anciens imprimés- une étude comparée

Programme

13 Dec. 2013

13:00 : Registration

13:30 : Takami Matsuda (Keio University), Opening remarks

13:40—14:20 : Ed Potten (Cambridge University Library), 'The "Ewe-lamb" of the Lyme Park Library: William Caxton's 1487 Missale ad Usum Sarum'

14:20—15:00 : Catherine Yvard (The Courtauld Institute of Art), 'A Neapolitan in Tours, or the Journey of an Incunable'

15:00—15:20 : Break

15:20—16:00 : Marc Gil (Université Lille3), 'L'usage des motifs gravés dans les derniers manuscrits enluminés septentrionaux (v. 1500-1570)'

16:00—16:40 : Mari Agata (Keio University), 'Permission for Readers to Capture Images of Special Collection Materials: A New Trend towards "Capture and Release"'

16:40—17:00 : Break

新着記事

- 2014.3.4 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
- 2014.2.24 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
- 2014.2.21 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
- 2014.1.14 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻—昔話の世界—」展のお知らせ
- 2013.11.18 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
- 2013.11.12 2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
- 2013.9.20 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
- 2013.8.19 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
- 2013.3.12 2013.3.18～19 講演会のお知らせ
- 2012.11.22 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

- 石川 透 (19)
- 野元 晋 (3)
- 高橋 智 (3)
- 佐々木 孝浩 (3)
- 松田 隆美 (8)
- 浅見 雅一 (1)
- 徳永 聡子 (2)
- 内藤 正人 (1)
- 安形 麻理 (0)

17:00—18:00 : Special Lecture : Michèle-Caroline Heck (Université Paul Valéry - Montpellier 3), 'Allégories de la peinture, portraits d'artistes en images et en mots dans la littérature artistique (XVIe-XVIIe)' (Présentation du projet LexArt-Words for Art - European Council of Research-Advanced Grant)

18:30 : Reception (Faculty Club, Mita Campus)

14 Dec. 2013

10:00 : Registration

10:30—11:10 Christian Heck (Université de Lille 3), 'Du manuscrit au livre xylographique (Blockbuch) : image didactique et mise en page dans le livre à la fin du Moyen Age'

11:10—11:50 : Mayumi Ikeda (Japan Society for the Promotion of Science/ Keio University), 'Illustrating the Herbal: Woodcuts of the Herbarius latinus (1484) and the Gart der Gesundheit (1485) of Mainz'

11:50—12:30 : Laura Nuvoloni (Cambridge University Library): 'Consummate Travellers: Tracing Fifteenth-Century European Books in Intercontinental Collections in the Twenty-First Century'

12:30—14:00 : Lunch

14:00—14:40 : Pascale Charron (Université de Tours), 'Du manuscrit à l'imprimé: le cas du Champion des dames de Martin Le Franc'

14:40—15:30 : John Goldfinch (British Library), 'Illustrating the Printed Book in the 15th Century'

15:30—15:50 : Break

15:50—17:00 : Discussion



2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム

2013.12.7 シンポジウム「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」開催

慶應義塾大学15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究プロジェクトシンポジウム「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」

【2010年12月開催の「絵入り占本シンポジウム」で金時徳氏により報告された、日本の『大易断例ト筮元亀』と韓国の『唐四柱』の二つの写本の挿絵に強い共通性が見られる事実が焦点を絞って、その事実が何を意味するのか、今後どのような方向に研究を進めていけばよいのかといった問題について、パネリストを中心に参加者全員で討議する場としたいと存じます。】

期日：12月7日（土）13時30分～17時30分

会場：慶應義塾大学三田キャンパス北館大会議室（3階）

（使用言語：日本語・入場無料・予約不要）

パネリスト

金時徳氏 ソウル大学奎章閣韓国学研究院助教授

マティアス・ハイエク氏 パリ第7大学准教授・エルランゲン大学国際人文科学研究所客員研究員

水口幹記氏 立教大学文学部助教

古藤友子氏 国際基督教大学教養学部教授

司会 佐々木孝浩 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授

問い合わせ先：慶應義塾大学附属研究所斯道文庫内 佐々木孝浩

TEL 03-5427-1582（斯道文庫代表）

アクセス情報：<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

 [ポスター](#)

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scafe 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会

2012. 10. 11 イフォ・スミッツ氏講演会

イフォ・スミッツ氏 (ライデン大学中東・アジア地域研究所教授)

「知識論としてのエムブレム：日本近世におけるヨーロッパ警諭画の受容」

期日：10月11日（金） 時間：16時30分～18時00分

会場：慶應義塾大学三田キャンパス東館ホール（8階）

（使用言語：日本語・入場無料・予約不要）

要旨：16～18世紀のヨーロッパでは、「エムブレム」（ラテン語 *emblemata*）は重要な教訓資料となっていた。エムブレムは、金言か標題・絵・解説（警句）の三つの要素からなっており、これらを組み合わせて教訓のメッセージを伝える役割を有するものである。普段の生活でも、エムブレムに組み込まれた譬え話と警諭画を利用して語りながら、聞く者に教訓を与えたのである。この「エムブレム的世界観」は大きな影響力を有していたが、18世紀に至り「科学的世界観」が発達するに至って、ヨーロッパの思想は大きな転換を迎えることとなった。

江戸後半の蘭学者達も、日本にもたらされたエムブレムに出会い、それがヨーロッパにおける大切な知識の伝達手段であることを認識しつつも、その解釈の方法に悩み、新たな科学的世界観との関連性について疑問をいだきつつ、エムブレムを通していかにヨーロッパの文化制度を理解するかを議論しあっていたのである。

この講演では、ヨーロッパにおけるエムブレムの構造と発展の歴史を説明し、日本の近世におけるエムブレムの影響と受容の有様について説明してみたい。

問い合わせ先 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫内 佐々木 孝浩

TEL 03-5427-1582（斯道文庫代表）

アクセス情報 <http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

 [ポスター](#)

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ

奈良絵本・絵巻国際会議 2013.8のお知らせ

室町時代後期から江戸時代中期にかけて制作された奈良絵本・絵巻について、国際的な視野から見直し、話し合います。本企画は、慶應義塾大学絵入り本プロジェクト「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成（戦略的研究基盤形成支援事業）」により開催されます。

会場 慶應義塾大学東館6階G-SEC Lab(東京都港区三田2-14-45)

(田町駅・三田駅・赤羽橋駅から徒歩約10分)

参加費 無料

8月29日 (木)

10:30～12:00

研究発表会

1平維盛の画像について 今原知恵里

2百人一首の歌仙絵について 須山 恵美

13:30～17:00

公開講演会

1近世文学と奈良絵本・絵巻 石川 透

2江戸の歌仙絵 神作 研一

3中京大学図書館蔵三種の『張良』について 柳沢 昌紀

なお、当日、奈良絵本・絵巻に関する小展示を行います。

連絡先 奈良絵本・絵巻国際会議

〒108-8345東京都港区三田2-15-45 Tel03-5427-1178

慶應義塾大学文学部石川透研究室email:toru@flet.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2013.3.18～19 講演会のお知らせ

絵入り本 国際集会 2013.3 のお知らせ

15～17世紀を中心に世界各地で作られた絵入り本について、国際的な視野から見直し、話し合います。本企画は、慶應義塾大学絵入り本プロジェクト「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成（戦略的研究基盤形成支援事業、代表石川透）」の主催により開催されます。

会場 慶應義塾大学東館6階G-SEC Lab(東京都港区三田2-14-45)

(田町駅・三田駅・赤羽橋駅から徒歩約10分)

参加費 無料

3月19日（火）13:00～17:00

公開講演会

1 『源氏物語』の絵本・絵巻 石川透

2 「源氏絵」とは何か？—美術史における「範疇」に対する一考察—

エステル レジェリー・ボエール

3 幻の「源氏物語絵巻」について 小嶋 菜温子

なお、当日、絵入り本に関する小展示を行います。

連絡先 絵入り本国際集会

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 Tel03-5427-1178

慶應義塾大学文学部石川透研究室 email: toru@flet.keio.ac.jp

なお、関連のプログラムとして、以下の国際集会も前日に開催されます。

写本・版本 国際集会 2013.3 のお知らせ

室町～江戸期における写本と版本の関係について、国際的な視野から見直し、話し合います。本企画は、科研費基盤研究A「室町～江戸期における写本と版本の関係についての総合的研究（代表石川透）」の主催により開催されます。

会場 慶應義塾大学東館6階G-SEC Lab(東京都港区三田2-14-45)

(田町駅・三田駅・赤羽橋駅から徒歩約10分)

参加費 無料

3月18日（月）13:00～17:00

公開講演会

1 版本『九相詩』前夜 今西祐一郎

2 塵滴問答-写本と版本 ラウラ・モレット

公開討論会「本科研費メンバーによる研究紹介」

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻—昔話の世界—」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)

石川透・佐々木孝浩・小川剛生・佐藤道生・堀川貴司・津田真弓・

柳沢昌紀・神作研一

なお、当日、写本・版本に関する小展示を行います。

連絡先 写本・版本国際集会

〒108-8345東京都港区三田2-15-45 Tel03-5427-1178

慶應義塾大学文学部石川透研究室email:toru@flet.keio.ac.jp

© 2010 EIRI All Rights Reserved.



2012.12.4WendyScase教授講演会

中世英文学研究とデジタル人文学 / Medieval English Studies and Digital Humanities

日時：2012年12月4日（火） 16:30～18:00

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 東館4階セミナー室

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

プログラム：

- Kathleen Ogden (Ph.D. candidate, University of Toronto), "Bibliography of Bibliography" in the Digital Age: A Centenary Revision of Greg's 'New Bibliography'

- Wendy Scase (Professor, University of Birmingham), 'Recording and Interpreting Paratextual Features in the Vernon Manuscript'—Bodleian Libraryの秘宝Vernon写本 (MS Eng. poet.a.1) のデジタル・ファクシミリ作成の過程で明らかとなってきた同写本のパラテキスト的要素とその解釈の可能性についてお話いただく予定です。

入場無料 / 事前申し込み不要

問い合わせ先：慶應義塾大学文学部 徳永聡子 (satoko@flet.keio.ac.jp)

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4WendyScase教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



EIRI Research Overview

Between the 15th and 17th centuries, illustrated books were produced throughout the world. In Japan, such books finally came to be mass-produced. Among unique examples of Japanese culture are the handcrafted Nara e-hon illustrated books and scrolls, and coloured tanrokubon (red-green books), but these have yet to receive the full attention of academics. In the West, with the advent of printing heralded by the Gutenberg Bible in the 15th century, many incunabula were produced, and not a few of these were illustrated. In the Islamic world, including India, this period saw the appearance of books illustrated with miniatures. Also in China and on the Korean peninsula, illustrated books were printed in large quantities. Yet despite the fact that these illustrated books were produced by such diverse cultures, significant similarities in composition and colours can be observed. While this cultural phenomenon is likely to be a reflection of mercantile links developed in the Age of Discovery, it has not so far been the subject of international comparative research. For the EIRI Project, therefore, researchers from around the world have come together to study illustrated books of the 15th to 17th centuries, cataloguing and photographing them in order to throw light on the possible connections and influences behind their production.

The EIRI Project is also involved in the digitization of such rare books as the Gutenberg Bible, Nara e-hon and illustrated scrolls, work that was initiated by Keio University's HUMI Project, and continued by Keio University's DARC Project. The aim is to make the results of previous digitization projects at Keio more widely known, thus facilitating further research and cultural enrichment.

News

- 2013.11.18 [Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study](#)
- 2010.3.29 [EIRI Research Overview](#)

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



News

News

- 2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study
- 2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



Enquiries

Japan, 108-8345

Tokyo, Minato-ku, Mita 2-15-45

Keio University EIRI PROJECT

Tel : 03-5427-1646 (Keio University, HUMI Project)

FAX : 03-5427-1647

News

2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study

2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

ISHIKAWA, Tooru (1)

NOMOTO, Shin (0)

TAKAHASHI, Satoshi (0)

SASAKI, Takahiro (0)

MATSUDA, Takami (1)

ASAMI Masakazu (0)

TOKUNAGA, Satoko (0)

NAITO, Masato (0)

AGATA, Mari (0)



What's New

- | | |
|------------|---|
| 2013.11.18 | Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study |
| 2010.3.29 | EIRI Research Overview |

News

- | | |
|------------|---|
| 2013.11.18 | Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study |
| 2010.3.29 | EIRI Research Overview |

Researchers

- | | |
|--------------------|-----|
| ISHIKAWA, Tooru | (1) |
| NOMOTO, Shin | (0) |
| TAKAHASHI, Satoshi | (0) |
| SASAKI, Takahiro | (0) |
| MATSUDA, Takami | (1) |
| ASAMI Masakazu | (0) |
| TOKUNAGA, Satoko | (0) |
| NAITO, Masato | (0) |
| AGATA, Mari | (0) |



ISHIKAWA, Tooru

Professor, Faculty of Letters, Keio University

Nara e-hon/e-maki(illustrated books and scrolls)produced between the end of the Muromachi Period and the middle of the Edo Period.

News

EIRI Research Overview

News

- 2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study
- 2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



NOMOTO, Shin

Professor, Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies

History of Islamic thought, and in particular the Ismaili branch of Shia thought. Focus of research for the EIRI Project is the articulation of religious thought in Islamic art.

News

- 2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study
- 2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



TAKAHASHI, Satoshi

Professor, Keio University Institute of Oriental Classics

Classical Chinese books (history, authentication, circulation of Chinese printed classics, history of copying and printing of Chinese books in Japan, etc.).

News

- 2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study
- 2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



SASAKI, Takahiro

Professor, Keio University Institute of Oriental Classics

Japanese classical bibliography, especially the interrelation of form and content in Japanese classical writings, with an emphasis on manuscripts; the cult of Kakinomoto no Hitomaro, images of Hitomaro and the Immortals of Poetry (kasen). Focus for the EIRI project is international comparative research on early illustrated books.

News

- 2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study
- 2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



Search

MATSUDA, Takami

Professor, Faculty of Letters, Keio University/ Director, Keio University Research Institute for Digital Media and Content

Research interests include the interrelation of text and image as a feature of manuscripts and early printed books in the Western Middle Ages (particularly 14th- to 16th-century England and France), the relation between book circulation and popular Christianity, medieval visions and attitudes towards life and death. He has created and published online digital editions of 15th-and 16th-century illustrated books (manuscript and print).

News

Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study

News

- 2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study
- 2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



Search

ASAMI Masakazu

Professor, Faculty of Letters, Keio University

History of Christianity; history of Roman Catholicism in China.

News

- 2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study
- 2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



TOKUNAGA, Satoko

Assistant Professor, Faculty of Letters, Keio University

Research interests include the reuse of woodcut blocks in early printed books produced for the English market in the 15th and 16th centuries.

News

- 2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study
- 2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



Search

NAITO, Masato

Professor, Faculty of Letters, Keio University / Director, Keio University Art Centre

Art history of the Edo period (including printed art), with an emphasis on the works and artists of ukiyoe and the Rinpa school; also, research and critical work on the relation between these throughout the early modern period.

News

- 2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study
- 2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



Search

AGATA, Mari

Associate Professor, Faculty of Letters, Keio University

Comparative research (collation) of the Gutenberg Bible using digital images. Focus for the EIRI Project is digitization techniques employed for rare books.

News

- 2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study
- 2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

- ISHIKAWA, Tooru (1)
- NOMOTO, Shin (0)
- TAKAHASHI, Satoshi (0)
- SASAKI, Takahiro (0)
- MATSUDA, Takami (1)
- ASAMI Masakazu (0)
- TOKUNAGA, Satoko (0)
- NAITO, Masato (0)
- AGATA, Mari (0)



Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study

平成25年度戦略的研究基盤形成支援事業 慶應義塾大学「絵入り本プロジェクト」主催

写本および初期刊本におけるテキストと挿絵

—比較研究の試み—

日時 2013年12月13日（金）13:30～18:00（13:00開場）

2013年12月14日（土）10:30～17:00（10:00開場）

会場 慶應義塾大学三田キャンパス東館8Fホール

Text and Illustration in Early Books and Manuscripts:

A Comparative Study

Texte et illustration dans les manuscrits et livres anciens imprimés — une étude comparée

13 Dec. 2013 : 13:30—18:00 / 14 Dec. 2013 : 10:30—17:00

Keio University, Mita Campus, 8th Floor, East Building

事前申込み不要・入場無料 (Admission free)

全ての発表において、日本語のレジユメを配布します。

問い合わせ先：松田隆美研究室：matsuda@flet.keio.ac.jp

Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study

Texte et illustration dans les manuscrits et livres anciens imprimés- une étude comparée

Programme

13 Dec. 2013

13:00 : Registration

13:30 : Takami Matsuda (Keio University), Opening remarks

13:40—14:20 : Ed Potten (Cambridge University Library), 'The "Ewe-lamb" of the Lyme Park Library: William Caxton's 1487 Missale ad Usum Sarum'

14:20—15:00 : Catherine Yvard (The Courtauld Institute of Art), 'A Neapolitan in Tours, or the Journey of an Incunable'

15:00—15:20 : Break

15:20—16:00 : Marc Gil (Université Lille3), 'L'usage des motifs gravés dans les derniers manuscrits enluminés septentrionaux (v. 1500-1570)'

16:00—16:40 : Mari Agata (Keio University), 'Permission for Readers to Capture Images of Special Collection Materials: A New Trend towards "Capture and Release"'

16:40—17:00 : Break

News

2013.11.18 Text and illustration in early books and manuscripts: A comparative study

2010.3.29 EIRI Research Overview

Researchers

ISHIKAWA, Tooru (1)

NOMOTO, Shin (0)

TAKAHASHI, Satoshi (0)

SASAKI, Takahiro (0)

MATSUDA, Takami (1)

ASAMI Masakazu (0)

TOKUNAGA, Satoko (0)

NAITO, Masato (0)

AGATA, Mari (0)

17:00—18:00 : Special Lecture : Michèle-Caroline Heck (Université Paul Valéry - Montpellier 3), 'Allégories de la peinture, portraits d'artistes en images et en mots dans la littérature artistique (XVIe-XVIIe)' (Présentation du projet LexArt-Words for Art – European Council of Research-Advanced Grant)

18:30 : Reception (Faculty Club, Mita Campus)

14 Dec. 2013

10:00 : Registration

10:30—11:10 Christian Heck (Université de Lille 3), 'Du manuscrit au livre xylographique (Blockbuch) : image didactique et mise en page dans le livre à la fin du Moyen Age'

11:10—11:50 : Mayumi Ikeda (Japan Society for the Promotion of Science/ Keio University), 'Illustrating the Herbal: Woodcuts of the Herbarius latinus (1484) and the Gart der Gesundheit (1485) of Mainz'

11:50—12:30 : Laura Nuvoloni (Cambridge University Library): 'Consummate Travellers: Tracing Fifteenth-Century European Books in Intercontinental Collections in the Twenty-First Century'

12:30—14:00 : Lunch

14:00—14:40 : Pascale Charron (Université de Tours), 'Du manuscrit à l'imprimé: le cas du Champion des dames de Martin Le Franc'

14:40—15:30 : John Goldfinch (British Library), 'Illustrating the Printed Book in the 15th Century'

15:30—15:50 : Break

15:50—17:00 : Discussion



2012.10月11月展覧会のお知らせ

2012.10月11月展覧会のお知らせ

絵本・絵巻に見る京都

-宮廷と京の町衆-

本年は、方丈記が作られてから800年に当たります。方丈記自体は、その絵入り本がきわめて少なく、鴨長明の画像もほとんど残されていません。そこで、本展では、方丈記・鴨長明の絵入り資料とともに、主に江戸時代前期に流行した絵本・絵巻をひとといてみたいと思います。物語世界を描いた絵本や絵巻では、どのように京都を描いていたかを、展覽いたします。また、江戸時代は、そのような絵入り資料が京都で作られたと同時に、宮廷文化の復興も推し進められていました。そのなかで作られ、保存されてきた宸翰や親王・公卿の筆跡も展示いたします。どうぞ、お問い合わせの上お出でください。なお、本企画は、慶應義塾大学絵入り本プロジェクト「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成（戦略的研究基盤形成支援事業）」と京都府古書籍商業協同組合との共催により開催されます。

会場 京都府古書籍商業協同組合 3階展示室

(京都市中京区高倉通夷川上る福屋町723番地、地下鉄烏丸線「丸太町」駅徒歩5分)

会期 2012年10月27日～11月4日 10時～17時

入場無料

公開講演会 於3階展示室

11月3日(土) 14～15時 「絵本・絵巻に見る京都」 慶應義塾大学教授 石川透

「古書即売会」のお知らせ

10月27日(土)、28日(日) 10時～17時に、同会場1階において、京都古典会会員店による古書即売会を開催いたします。ふるって、ご参集ください。

慶應義塾大学絵入り本プロジェクト

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 Tel.03-5427-1178

慶應義塾大学文学部石川透研究室 email:toru@flet.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清龍本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.8.18～19 奈良絵本・絵巻国際会議 神奈川大会のお知らせ

奈良絵本・絵巻国際会議 神奈川大会のお知らせ

室町時代後期から江戸時代中期にかけて制作された奈良絵本・絵巻について、国際的な視野から見直し、話し合います。本企画は、慶應義塾大学絵入り本プロジェクト「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成（戦略的研究基盤形成支援事業）」により開催されます。

会場 慶應義塾大学日吉校舎 来往舎シンポジウムスペース

(神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1、日吉駅より徒歩3分)

参加費無料

2012年8月18日（土）

公開講演会 14：00～16：30

1奈良絵の陶器と扇 石川 透

2奈良絵という言葉と奈良扇 牧野 和夫

2012年8月19日（日）

研究発表会 10：30～12：30

1『八幡本地』の挿絵をめぐって 金 英珠

2『福富草紙』の展開 吉橋 さやか

3法華寺蔵『七草絵巻』の絵と詞書 横山 恵理

公開講演会 14：00～16：30

1ブリガムヤング大学蔵『浦島太郎絵巻』について ジャックストーンマン

2女流書家としての居初津奈 小泉 吉永

連絡先 奈良絵本・絵巻国際会議

〒108-8345東京都港区三田2-15-45 Tel03-5427-1178

慶應義塾大学文学部石川透研究室email:toru@flet.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.8.4～5 絵入り本国際集會講演会のお知らせ

絵入り本 国際集會 2012.8 講演会のお知らせ

15～17世紀を中心に世界各地で作られた絵入り本について、国際的な視野から見直し、話し合います。本企画は、慶應義塾大学絵入り本プロジェクト「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成（戦略的研究基盤形成支援事業）」と海の見える杜美術館との共催により開催されます。

会場 海の見える杜美術館(広島県廿日市市大野亀ヶ岡701)

(宮島口駅からタクシー約10分)

参加費 無料

8月4日(土) 13:30～16:00

公開講演会

1軍記物語の絵本・絵巻 石川透

2源平盛衰記と奈良絵本・絵巻 松尾葦江

8月5日(日) 13:30～16:00

公開講演会

3謡曲《碇潜》成立の背景となる碇の変遷 岡田三津子

4平家納経、そして女性の絵 浅野日出男

海の見える杜美術館では、「清盛とその時代一兵どもを支えた女性たち」展(6月2日～10月21日、一般入館料800円)を開催しています。

連絡先 絵入り本国際集會

〒108-8345東京都港区三田2-15-45 Tel03-5427-1178

慶應義塾大学文学部石川透研究室email:toru@flet.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイヴ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川透 (19)
野元晋 (3)
高橋智 (3)
佐々木孝浩 (3)
松田隆美 (8)
浅見雅一 (1)
徳永聡子 (2)
内藤正人 (1)
安形麻理 (0)



2012.3.15～3.20 古典絵入り本の東西展開催のお知らせ

古典絵入り本の東西展 開催のお知らせ

2007年開催された「奈良絵本・絵巻の魅力」展に続き、室町時代後期から江戸時代中期にかけて制作された奈良絵本・絵巻の代表的な作品と、同時代に西洋において作成された中世写本を展示します。世界的な絵本・絵巻の世界をどうぞお楽しみください。

主催：慶應義塾大学絵入り本プロジェクト

会期：2012年3月15（木）～20（火）日 最終日は17時閉場

会場：丸善・名古屋栄店 4階ギャラリー（名古屋市中区栄3-2-7）

絵入り本プロジェクト講座（慶應義塾大学教授による講演、いずれも午後1時30分～4時）

3月17（土）日 石川透「奈良絵本・絵巻の展開」 佐々木孝浩「人麿画像の展開」

3月18（日）日 高橋智「中国絵入り本の世界」 松田隆美「西洋中世写本の挿絵の世界」

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.3.1～3.28 奈良絵本・絵巻に見る昔話展開催のお知らせ

奈良絵本・絵巻に見る昔話展のお知らせ

慶應義塾図書館、並びに、慶應義塾大学絵入り本プロジェクト（プロジェクト終了後は慶應義塾図書館蔵）が所有する、奈良絵本・絵巻は、重要な文化財であると共に、さまざまな研究に利用されています。この奈良絵本・絵巻は、室町時代後期から江戸時代中期に制作され、その美しい作品は、日本の昔話を描いた原点でもあります。今回は、慶應義塾が所有する奈良絵本・絵巻のうち、昔話に関する作品を取り上げて展示します。

会期：2012年3月1日（木）～28日（水）

会場：慶應義塾図書館1階展示室（高校生以上であればどなたでもご覧になれます）

主催：慶應義塾大学三田メディアセンター展示委員会

協力：慶應義塾大学絵入り本プロジェクト

ギャラリートーク：3月8日（木）、3月22日（木）いずれも午後1時～1時30分

担当 文学部教授 石川透

出品作品

1竹取物語 [江戸前期] 写 元絵巻 屏風 1双

2浦島太郎 [江戸初期] 写 奈良絵本 1冊

3酒呑童子 [江戸前期] 写 絵巻 3軸

4弥兵衛鼠 [江戸前期] 写 絵巻 2軸

5土蜘蛛 [江戸前期] 写 絵巻 2軸

6祇王 [江戸初期] 写 奈良絵本 2冊

7橋姫 [江戸前期] 写 奈良絵本 2冊

8判官都ばなし [江戸前期] 写 奈良絵本 1冊

9磯崎 [江戸前期] 写 奈良絵本 2冊

10たなばた [江戸前期] 写 奈良絵本 3帖

11文正草子 [江戸初期] 写 奈良絵本 3冊

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻ー昔話の世界ー」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2011.11.28～12.16 東西の絵入り本－1400～1700年展－開催のお知らせ

東西の絵入り本－1400～1700年展－

慶應義塾大学絵入り本プロジェクトでは、「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成（戦略的研究基盤形成支援事業）」という課題のもとに、世界の絵入り本を収集しています。

15～17世紀という時代は、大航海時代とも呼ばれるように、世界的に文物が交流しました。絵入り本についても、この時代独自の美しい作品が多く残されています。この絵入り本の世界を、ぜひお楽しみください。

出品作品 『浦島太郎絵巻』、『酒呑童子絵巻』、『奈良絵本花鳥風月』

主催 慶應義塾大学絵入り本プロジェクト

慶應義塾大学アートセンター

日時 2011年11月28日（月）～12月16日（金）

時間 10:00～17:00〔土日祝日休〕

場所 慶應義塾大学 アートスペース

問い合わせ先 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学図書館旧館B1F

慶應義塾大学絵入り本プロジェクト

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.7.6 鎌田由美子氏 講演会

鎌田由美子氏 講演会

日時：

7月6日(金) 4：30～6：00

慶應義塾大学三田キャンパス北館大会議室

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

講師：

鎌田由美子氏 (早稲田大学高等研究助教)

ニューヨーク大学大学院修了。ニューヨーク・メトロポリタン美術館研究員を経て現職。専門は南アジアを中心としたイスラーム美術史。

演題：

『イスラーム美術と日本・中国・ヨーロッパ～写本絵画とテキストを中心に～』

入場無料/ 予約不要

問い合わせ先：

慶應義塾大学 言語文化研究所教授 野元晋 nshin21st@z8.keio.jp

新着記事

- 2014.3.4 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
- 2014.2.24 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
- 2014.2.21 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
- 2014.1.14 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ
- 2013.11.18 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
- 2013.11.12 2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
- 2013.9.20 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
- 2013.8.19 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
- 2013.3.12 2013.3.18～19 講演会のお知らせ
- 2012.11.22 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

- 石川 透 (19)
- 野元 晋 (3)
- 高橋 智 (3)
- 佐々木 孝浩 (3)
- 松田 隆美 (8)
- 浅見 雅一 (1)
- 徳永 聡子 (2)
- 内藤 正人 (1)
- 安形 麻理 (0)



2011.12.17 .21 バーネット教授 バーガー氏講演会

チャールズ・バーネット教授 スザンナ・バーガー氏 講演会

(慶應義塾大学 平成23年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」)

日時： I 国際講演会 (使用言語：英語、日本語訳付き)

2011年12月17日(土) 14:00～17:30

II 国際セミナー (使用言語：英語、英文ハンドアウト付き)

2011年12月21日(水) 17:00～18:30

会場： I 慶應義塾大学三田キャンパス南校舎457教室

II 慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟A会議室

司会： 慶應義塾大学文学部 野元晋

講演者：

I 国際講演会 講演1 Dr.Charles Burnett(ロンドン大学ウォーバーク研究所教授)

講演2 Ms.Susananna Berger (オックスフォード大学 St Anne's Cllege ジュニアリサーチフェロー)

II 国際セミナー Ms.Susananna Berger

タイトル：

『自然哲学の絵画表現 アリストテレス自然哲学の受容に見る－イスラーム世界とヨーロッパ』

問い合わせ先：

慶應義塾大学 言語文化研究所教授 野元晋 nshin21st@z8.keio.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.4.26 高仁徳氏、李慧紋氏、松田隆美氏講演会

高仁徳氏、李慧紋氏、松田隆美氏講演会

(慶應義塾大学 平成23年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」)

日時：2012年4月26日(木) 14:00～17:00

会場：慶應義塾大学三田キャンパス 北館第二会議室

司会：慶應大学付属研究所斯道文庫教授 高橋智

講演者：

高仁徳氏

(1953年生まれ。専攻：中国古典文学。「境陵派の文学理論 - 『詩帰』の分析から見た明末の評点詩評の体系」)

李慧紋氏

(1971年生まれ。専攻：西洋中世期。「15世紀後半のフランス・イングランドの書物文化」)

松田隆美氏

(1958年生まれ。専攻：中世英文学。「ヴィジュアル・リーディング - 西洋中世におけるテキストとパラテキスト」)

タイトル：

高仁徳 「朝鮮時代における『三才図会』の受容について」

李慧紋 「15-16世紀における『歴史の鑑』の印刷底本に見られる版画」

松田隆美 「中世の終焉と『ポピュラー』な書物」

問い合わせ先：

慶應義塾大学付属研究所斯道文庫教授 高橋智 satosi@sid.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.3.1 沈乃文氏講演会

沈乃文氏講演会

(慶應義塾大学 平成23年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」)

日時：2012年3月1日(木) 14:30～16:30

会場：慶應義塾大学三田キャンパス 図書館旧館2F小会議室

司会：慶應大学付属研究所斯道文庫教授 高橋智

講演者：

沈乃文氏

(1953年中国北京市生まれ。北京大学図書館系卒業。北京大学図書館に勤務、編目部副主任・館長弁公室主任・古籍善本部主任を歴任。北京大学図書館研究館員、全国古籍保護専門家委員会委員、中国図書館学会学術委員会委員、全国高校古籍保護研究会会長。)

タイトル：

『古籍版画の挿絵に於ける山水と人物』

問い合わせ先：

慶應義塾大学付属研究所斯道文庫教授 高橋智 satosi@sid.Keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2011.10.27 陳正宏教授講演会

陳 正宏教授講演会

(慶應義塾大学 平成23年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」)

日時：2011年10月27日(木) 14:00～16:30

会場：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール第2会議室

司会：慶應大学付属研究所斯道文庫教授 高橋智

講演者：

陳 正宏 (上海復旦大学)

タイトル：

『近世中国繡像小説中の図文関係』

(中国絵入り本小説における絵図と本文の関係について)

問い合わせ先：

慶應義塾大学付属研究所斯道文庫教授 高橋智 satosi@sido.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.12.7 ジョセフ・キブルツ氏講演会

2012.12.7 ジョセフ・キブルツ氏講演会

ジョセフ・キブルツ氏（フランス国立科学研究所）講演会

日時：12月7日（金） 14時45分～16時15分（入場無料・予約不要）

場所：慶應義塾大三田キャンパス 南校舎5階 南校舎ホール

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

発表者：ジョセフ・キブルツ氏（フランス国立科学研究所・東アジア文明研究センター）

タイトル：「絵入り本の挿絵から一枚絵へ - 「お札」をめぐるヨーロッパと日本の比較 -」

要旨：日本の宗教画の〈お札〉とヨーロッパの〈聖像画〉の比較の視点から、桃山末期のイエズス会の彫版画室が創作したと推定される一枚刷りの絵の存在意義を探る。

使用言語：日本語

問い合わせ先：慶應義塾大学附属研究所斯道文庫内 佐々木 孝浩

TEL 03-5427-1582（斯道文庫代表）

hiro@sid0.keio.ac.jp

 [ポスター](#)

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.5.29 Professor William Sherman講演会

Professor William Sherman講演会

日時：2012年5月29日(火) 4：30-6：00

会場：慶應義塾大学三田キャンパス東館4Fセミナー室

講師：Professor William Sherman (University of York)

"The Reader's Eye: Between Annotation and Illustration"

The margins of early printed books are filled not just with words but also with images. Between medieval illumination and modern illustration there are a wide range of traces and practices that we have been slow to see and study, and for which we are poorly served by both methodology and terminology. In the first few centuries of print culture, in particular, active readers drew sketches, diagrams, iconic tags and body parts as well as fully-fledged decorative or illustrative schemes. What function do they serve and for whom? What kinds of text do they appear in and what kinds of content do they mark? What kinds of graphic training, aesthetic tastes and cognitive habits do they reflect? I will survey some rich examples from the fifteenth to the eighteenth centuries and offer some preliminary thoughts about the visual mode of response in early modern Europe.

来聴は自由ですが、会場の都合上、参加を希望される方は松田までご連絡下さい。

松田隆美

matsuda@flet.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11~26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18~19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.5.19 ペトロフスカイヤ・ナタリア氏講演会

ペトロフスカイヤ・ナタリア氏（ケンブリッジ大学）講演会

日時：5月19日（土）14:30-17:30

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 東館6F G-SEC Lab

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

発表者：ペトロフスカイヤ ナタリア氏（ケンブリッジ大学）

タイトル：「中世の地理学書とそのウェールズ語とフランス語の翻訳書ー比較図像学

的視点から」

要旨：地理学書Imago Mundiは1100年頃Honorius Augustodunensisによりラテン語で

書かれ、その後約150年の内にフランス語、ウェールズ語、イタリア語、スペイン語

等に翻訳された。ラテン語のヴァージョンは12世紀だけでも60以上の写本に収めら

れ、中世の科学分野におけるベストセラーとも言うべき人気を誇った。本公演はこの

地理学書の13世紀におけるウェールズ語とフランス語の翻訳書に焦点を当てる。ラ

テン語のImago Mundi、ウェールズ語のDelw y Byd、そしてフランス語のImage du

Mondeの比較を中心として、中世の地理学の大衆化について考えたい。今まで殆ど研

究されていないDelw y Bydの起源、そしてラテン語のオリジナルとの関係を検討し、

その後、フランス語の翻訳書との比較に移りたいと考えている。本講演では、写本の

図像の有無や変化が、Imago Mundiの大衆化過程において重要な役割を果たした事

を、図像の変遷とその役割という観点から検証したい。

問合わせ先：

慶應義塾大学文学部 松田隆美 matsuda@flet.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI) 報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.5.19 「慶應義塾大学絵入り本」主催研究会

「慶應義塾大学絵入り本」主催研究会

(慶應義塾大学 平成24年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」)

日時:

2012年5月19日(土) 14:30-17:30

慶應義塾大学三田キャンパス東館6F G-SECラボ

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

あいさつ:

慶應義塾大学文学部 松田隆美

司会:

慶應義塾大学文学部 辺見葉子

講師:

ナタリア・ペトロフスカイヤ (Natalia Petrovskaja, ケンブリッジ大学)

演題:

中世の地理学書とそのウェールズ語とフランス語の翻訳書ー比較図像学的視点から
(日本語による講演)

問い合わせ先:

慶應義塾大学文学部 松田隆美 (matsuda@flet.keio.ac.jp)

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイヴ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11~26 「奈良絵本・絵巻ー昔話の世界ー」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18~19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2012.5.13 クリスチャン・エック教授講演会

クリスチャン・エック教授（リール第3大学教授）講演会

日時：

5月13日(日) 1：30～3：00

慶應義塾大学三田キャンパス 研究室棟1F B会議室

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

講師：

クリスチャン・エック(Christian Heck)教授（リール第3大学教授）

演題：

L'échelle celeste dans l'art du Moyen Age. Une histoire de la quête
du ciel (西洋中世美術における天の梯子、天の探求のイメージ)

フランス語による講演（日本語訳原稿配布） / 来聴自由

問い合わせ先：

慶應義塾大学文学部 松田隆美 matsuda@flet.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻―昔話の世界―」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2011.10.30 A.S.G.エドワード教授講演会

A. S. G. Edwards 教授講演会

(慶應義塾大学 平成23年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」)

日時：2011年10月30日(日) 16:00～18:00

会場：慶應義塾大学三田キャンパス東館4Fセミナー室

司会：慶應義塾大学文学部 松田隆美

講演者：

A. S. G. Edwards (Professor of Textual Studies, De Montfort University, UK)

タイトル：

‘Problems of attribution in Middle English Verse’

問い合わせ先：

慶應義塾大学文学部 松田隆美 matsuda@flet.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scafe 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



J-P. Genet教授講演会中止のお知らせ

3月11日に発生いたしました「東北地方太平洋沖地震」におきまして、被災された皆様には謹んで心からのお見舞いを申し上げるとともに、犠牲になられた方々にご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。引き続き余震も心配されておりますが、皆様のご無事と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

3月25日に慶應義塾大学にて予定しておりましたジャン＝フィリップ・ジュネ教授講演会ですが、東北地方太平洋沖地震およびその後の状況のため、またジュネ教授に対して大学当局から渡航中止指示がございましたため教授の来日が難しく、慶應義塾大学および26日の京都大学での講演会開催を中止せざるをえなくなりました。

ご出席を予定して下さった皆様には大変申し訳なく存じますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイヴ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



J.-P. Genet 教授講演会

ジャン＝フィリップ・ジュネ教授連続講演研究会

慶應義塾大学研究会（慶應義塾大学 平成22年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」共催）

日程：2011年3月25日（金） 14時から

会場：慶應義塾大学三田キャンパス 北館1F 会議室2

報告：「中世（1200-1550年）イングランド人の『蔵書』について何が分かっているのか」

終了後懇親会が予定されております。準備の都合から、研究会、懇親会のご出欠のご連絡をお願いいたします。

問い合わせ先

岡崎 敦 (OKAZAKI Atsushi)

九州大学大学院人文科学研究院西洋史学研究室

E-mail: okazaki@lit.kyushu-u.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2011.7.7 スタンダエルト教授講演会

日時：2011年7月7日（木） 16：00～18：00

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 北館大会議室

講演者：ニコラス・スタンダエルト（ルーヴァン・カトリック大学教授）

演題：17世紀のオランダ=中国間の印刷循環

言語：英語

ニコラス・スタンダエルト（ニコラ・スタンダール） Nicholas Standaert, S.J. プロフィール

ベルギー王国ルーヴァン・カトリック大学教授。イエズス会司祭。1959年、アントワープ生まれ。ライデン大学卒業。同大学院博士課程修了。博士。上海・復旦大学、台北・輔仁大学などに留学。専門は中国学。米国プリンストン高等研究所所員。ベルギー王立学士院会員。

問い合わせ先：

慶應義塾大学文学部教授 浅見雅一

m.asami@flet.keio.ac.jp

新着記事

2014.3.4	渋井清龍本研究資料 デジタル・アーカイブ 試行的運用開始のお知らせ
2014.2.24	2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
2014.2.21	2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
2014.1.14	2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻-昔話の世界-」展のお知らせ
2013.11.18	2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
2013.11.12	2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
2013.9.20	2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
2013.8.19	2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
2013.3.12	2013.3.18～19 講演会のお知らせ
2012.11.22	2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

石川 透 (19)
野元 晋 (3)
高橋 智 (3)
佐々木 孝浩 (3)
松田 隆美 (8)
浅見 雅一 (1)
徳永 聡子 (2)
内藤 正人 (1)
安形 麻理 (0)



2011.9.9 パーカーライブラリー・慶應EIRI国際会議開催終了

2011.9.9 ケンブリッジ大学 国際学会開催終了のお知らせ

2011年9月9日に、英国ケンブリッジ大学コーパス・クリスティ・コレッジにて、同コレッジのパーカー・ライブラリーと絵入り本プロジェクトの共催で、国際学会「テキスト、イメージ、デジタル研究環境」(Text, Image and the Digital Research Environment: Parker Library-Keio EIRI Conference on Medieval Manuscripts and Printed Books)を開催しました。

→プログラムを表示

<http://parkerkeio2011.wordpress.com/programme/>

新着記事

- 2014.3.4 渋井清純本研究資料 デジタル・アーカイヴ 試行的運用開始のお知らせ
- 2014.2.24 2014.3.4 「天国を描く-ユーラシアの東西が見た来世-」講演会
- 2014.2.21 2014.3.5 絵入り本プロジェクト(EIRI)報告会のお知らせ
- 2014.1.14 2014.1.11～26 「奈良絵本・絵巻一昔話の世界」展のお知らせ
- 2013.11.18 2013.12.13-14 「写本および初期刊本におけるテキストと挿絵」講演会
- 2013.11.12 2013.12.7 「東アジアにおける古本の挿絵の共通性をめぐって」シンポジウム
- 2013.9.20 2012.10.11 イフォ・スミッツ氏講演会
- 2013.8.19 2013.8.29 奈良絵本・絵巻国際会議のお知らせ
- 2013.3.12 2013.3.18～19 講演会のお知らせ
- 2012.11.22 2012.12.4 Wendy Scase 教授講演会

研究者

- 石川 透 (19)
- 野元 晋 (3)
- 高橋 智 (3)
- 佐々木 孝浩 (3)
- 松田 隆美 (8)
- 浅見 雅一 (1)
- 徳永 聡子 (2)
- 内藤 正人 (1)
- 安形 麻理 (0)

「東アジアにおける占本の挿絵の共通性をめぐって」

入場無料
予約不要



2010年12月開催の「絵入り占本シンポジウム」で金時徳氏により報告された、日本の『大易断例ト筮元龜』と韓国の『唐四柱』の二つの写本の挿絵に強い共通性が見られる事実に焦点を絞って、その事実が何を意味するのか、今後どのような方向に研究を進めていけばよいのかといった問題について、パネリストを中心に参加者全員で討議する場としたいと存じます。

パネリスト

金 時徳氏
ソウル大学奎章閣韓国学研究院助教授

マティアス・ハイエク氏
パリ第7大学准教授・
エルランゲン大学国際人文科学研究所客員研究員

水口 幹記氏
立教大学文学部助教

古藤 友子氏
国際基督教大学教養学部教授

日時

12月7日(土)

13時30分～17時30分

司会

佐々木 孝浩 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授

会場

慶應義塾大学三田キャンパス北館大会議室(3階)

問い合わせ先.....

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫内 佐々木 孝浩
TEL▶03-5427-1582(斯道文庫代表) Web▶<http://www.eiri.keio.ac.jp>
アクセス情報▶<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>



知識論としてのエムブレム

日本近世におけるヨーロッパ譬喩画の受容

16〜18世紀のヨーロッパにおいて重要な教訓資料となっていたエンブレムの構造を解説し、近世期にもたらされたエンブレムが日本に与えた影響を探る（使用言語：日本語）

36 WARANDE DER DIEREN.

36. 't Peerd ende Hert.



M Et fulcken list heeft Marius de Romeynen hem onderdanigh gemaect. Want als sy van Sylla ende andere Tyrannen meer, zeer beiwaert werden, soo hebben sy haren noot defen Mario, die uyt Africa te Roomen met een groot krijsheyr oprack, geklaegt: daer op hen Marius antwoorde, dat hy haer licht uyt defen noot helpen konde; soo sy hem wilden in laten, ende voor haer Heer aennemem: 't welck als sy deeden, soo heeft Marius haer daer nae veel arger geriblaect ende verdruckt, als Sylla oyt te voren deede. PLUTARCHUS.

日時

10月11日(金)

16時30分▶▶18時00分

入場無料
予約不要

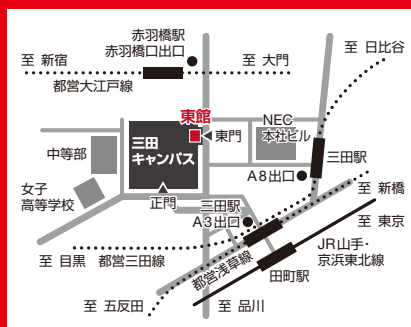
講師

イフォ・スミッツ氏
(ライデン大学中東・アジア地域研究所教授)

会場

慶應義塾大学三田キャンパス
東館ホール（8階）

問い合わせ先
慶應義塾大学附属研究所斯道文庫内
佐々木 孝浩
TEL 03-5427-1582 (斯道文庫代表)
web <http://www.eiri.keio.ac.jp/>
<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>



慶應義塾大学15〜17世紀における絵入り本の世界的比較研究プロジェクト講演会

絵入り本の挿絵から一枚絵へ——「お札」をめぐるヨーロッパと日本の比較

日本の宗教画の〈お札〉とヨーロッパの〈聖像画〉の比較の視点から、桃山末期のイエズス会の彫版画室が創作したと推定される一枚刷りの絵の存在意義を探る。



日時

12月7日(金)

14時45分▶▶16時15分

入場無料
予約不要

講師

ジョセフ・キブルツ氏
(フランス国立科学研究所・東アジア文明研究センター)

会場

慶應義塾大学三田キャンパス
南校舎5階 南校舎ホール

問い合わせ先
慶應義塾大学附属研究所斯道文庫内
佐々木 孝浩
TEL 03-5427-1582 (斯道文庫代表)
web <http://www.eiri.keio.ac.jp/>
<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

